

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

◆つぶやきについて

このつぶやきページにたどり着かれた方は、きっとこれから派遣される予定の方、あるいは派遣されている職員のご家族や職場の皆さんなのではないでしょうか？

他のどの研修よりも長い期間、自治大学校にお世話になるマネジメントコース生のつぶやきが「自治大学校ってどんなところ？」
「研修生は今どんな生活を送っているの？」
といった疑問にお答えできるよう、リアルな情報をお届けできれば幸いです。



R8年度マネジメントコース生と的井校長
～自治大学校正門前の桜の木の下で～

◆マネジメントコースの研修について

マネジメントコースは一年間の研修期間となっており、一般研修課程期間は課程を履修し、それ以外の期間は自治大学校の職員として、研修運営等の実務に従事します。今年度は11名の自治体職員が本研修に参加し、前半組（5月開始）と後半組（10月開始）に分かれて、一般研修課程を履修することになります。

私たちを含め、自治大学校で研修を受講する場合、自治大学校の敷地内にある寮で生活することとなります。食堂もありますので食事の心配も不要です。

また、勤務する自治大学校は総務省の機関であり、総務省職員の皆さんと一緒に働くこととなります。自治体職員とは違った環境で経験を積まれた方々と一緒に働く経験は、これまでと違った視点や意識を醸成できる環境であるように感じています。

◆自治大学校での寮生活について

自治大学校の寮は、敷地内に併設され、立川駅から徒歩20分程度と生活をする上では、大変利便性の高い立地にあります。

生成AIが言うには、『自治大学校のある立川市（たちかわし）は、東京都の多摩地域の中心都市として発展してきた街です。住む・働く・遊ぶのバランスが良く、近年とても人気があります。』とのことでした。



懇親会@立川市のシュラスコ専門店

実際、一か月生活をしてみて、駅周辺には大型商業施設や飲食店が充実しており、2000人規模の多目的ホールでライブやイベントが行われていて、文化的にも充実した街であるように感じています。また、中央線が通っており、新宿まで30分弱という立地ですので、この機会に23区内もいろいろと探索できればなと考えています。

◆最後に

派遣について打診された時には、自治大学校の名前は知っていても、実際どのような研修をしているかなど全く分からなかったため、とにかく不安が多くありました。ホームページを調べると、『地方公共団体の幹部となる職員の総合的な政策形成能力や行政管理能力を育成する役割を担っています』という非常に重いテーマが掲げられており、本当に自分が行くべきなのか、さらに不安になりました。

しかし皆さん、大丈夫です。不安いっぱい参加を決めた私ですが、まだ始まったばかりの一ヶ月間でも、他の自治体から来た仲間たちと共に働き、それぞれのリアルな話を聞ける環境は、当初の不安を吹き飛ばすほど価値あるものであったからです。

また、個人的な思いで恐縮ですが、1年という長い期間、家族を残し東京に向かうという選択に際し、どうしようかと悩んでいた時に「こんな機会きつともうないから、いっしておいで」と背中押してくれ、このような素晴らしい環境に送り出してくれた妻に心から感謝したいと思います。

これから、研修も始まりますが、研修の内容や課程の様子なども今後のこのつぶやきで発信されていくと思いますので、ぜひ、ご期待ください。



自治大学校寮最上階から見る中庭